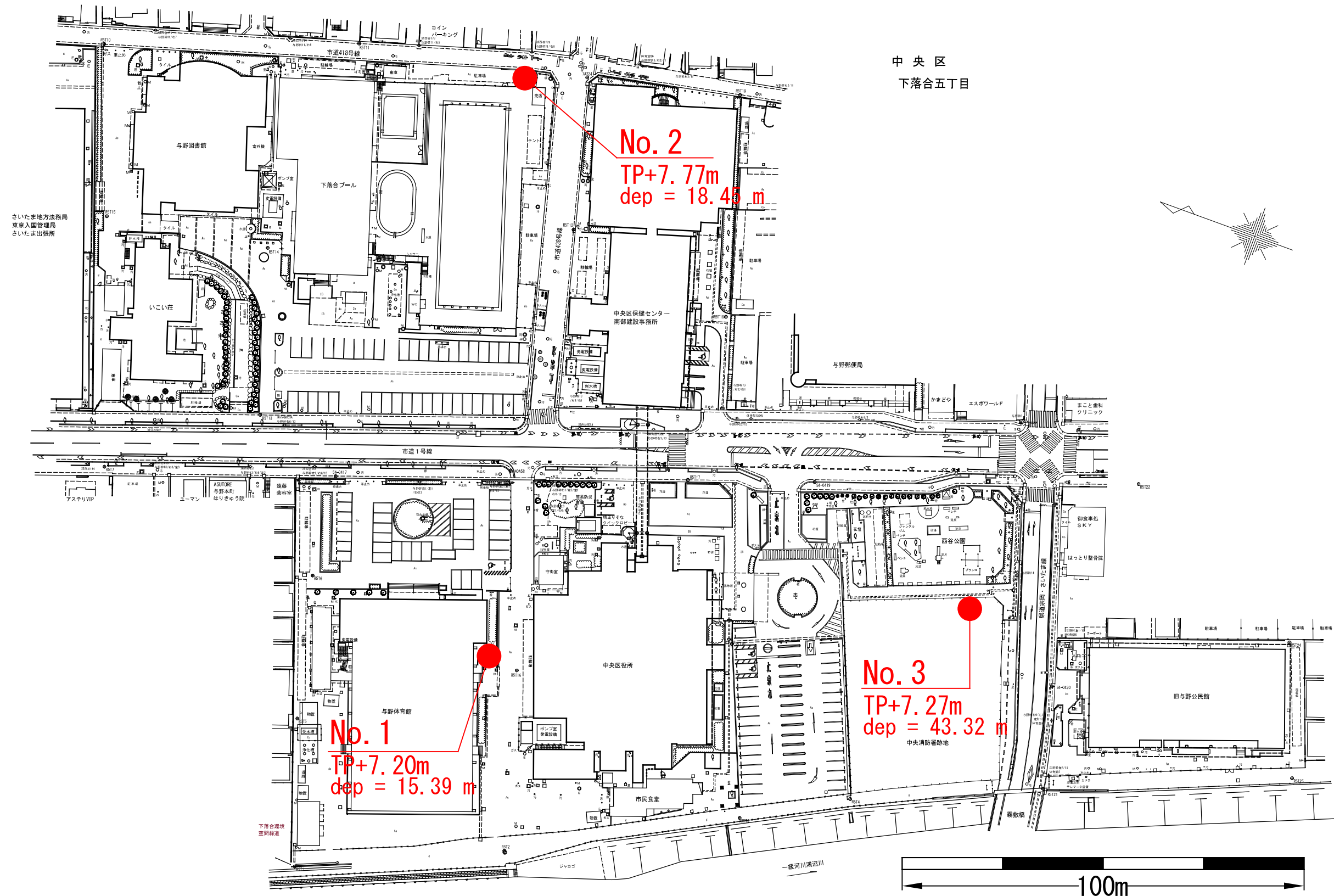


**【卷末資料】**

**【調査位置平面図】**

# 調査位置図 S=1/1000



【ボーリング柱状図】





# ボーリング柱状図

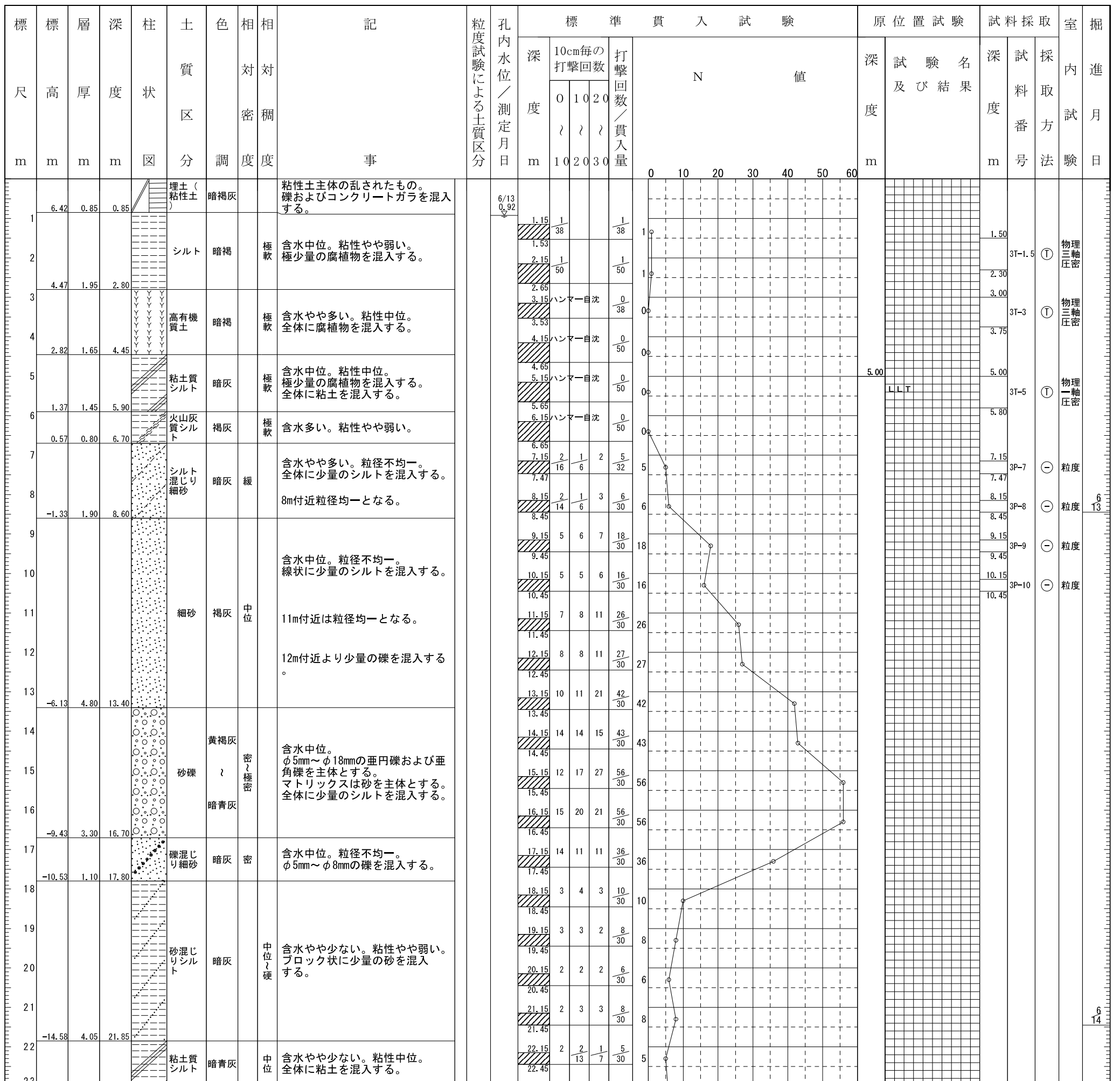
調査名 中央区役所周辺の公共施設再編事業に関する地質調査業務

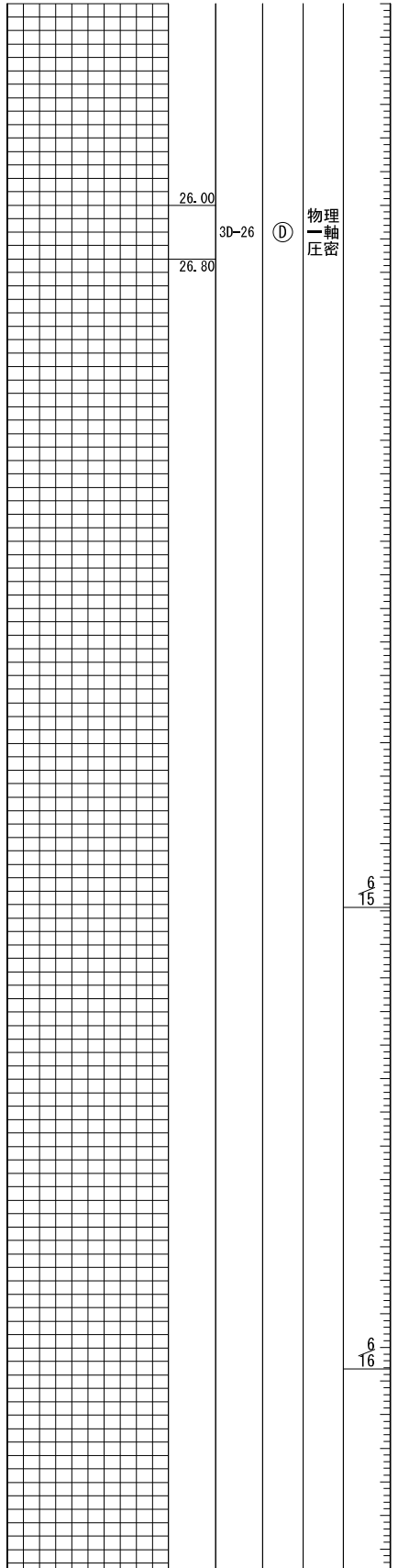
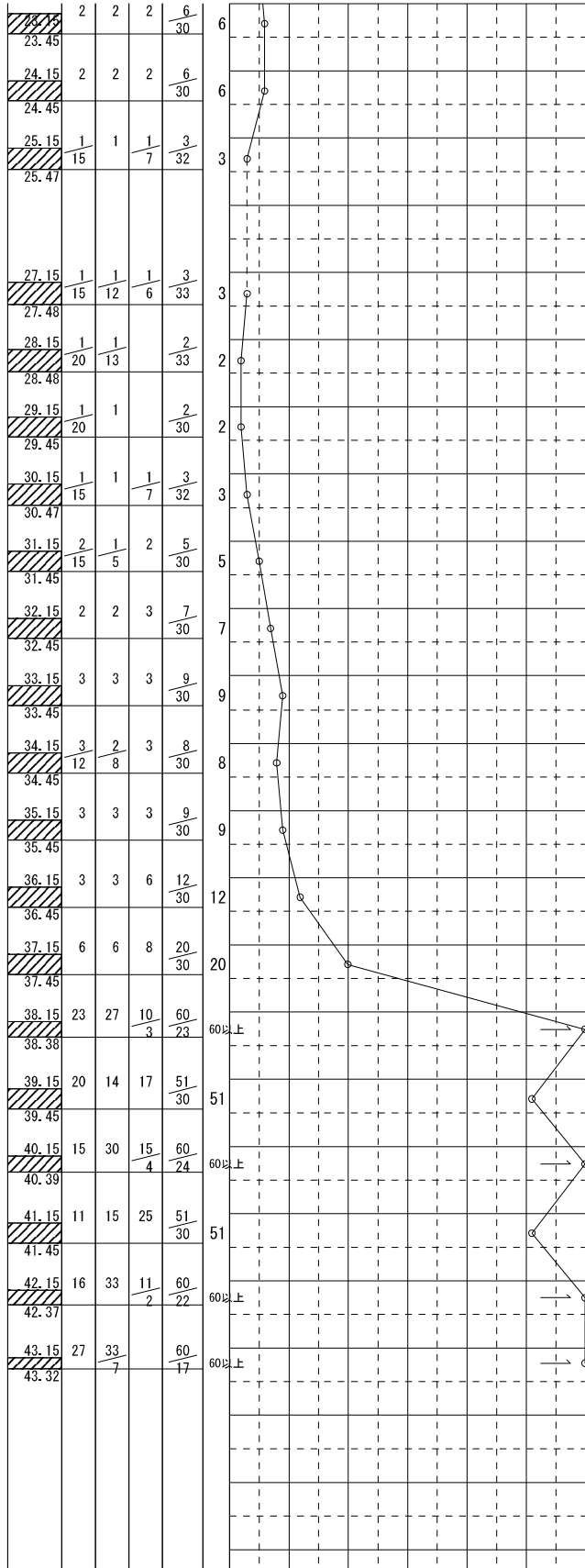
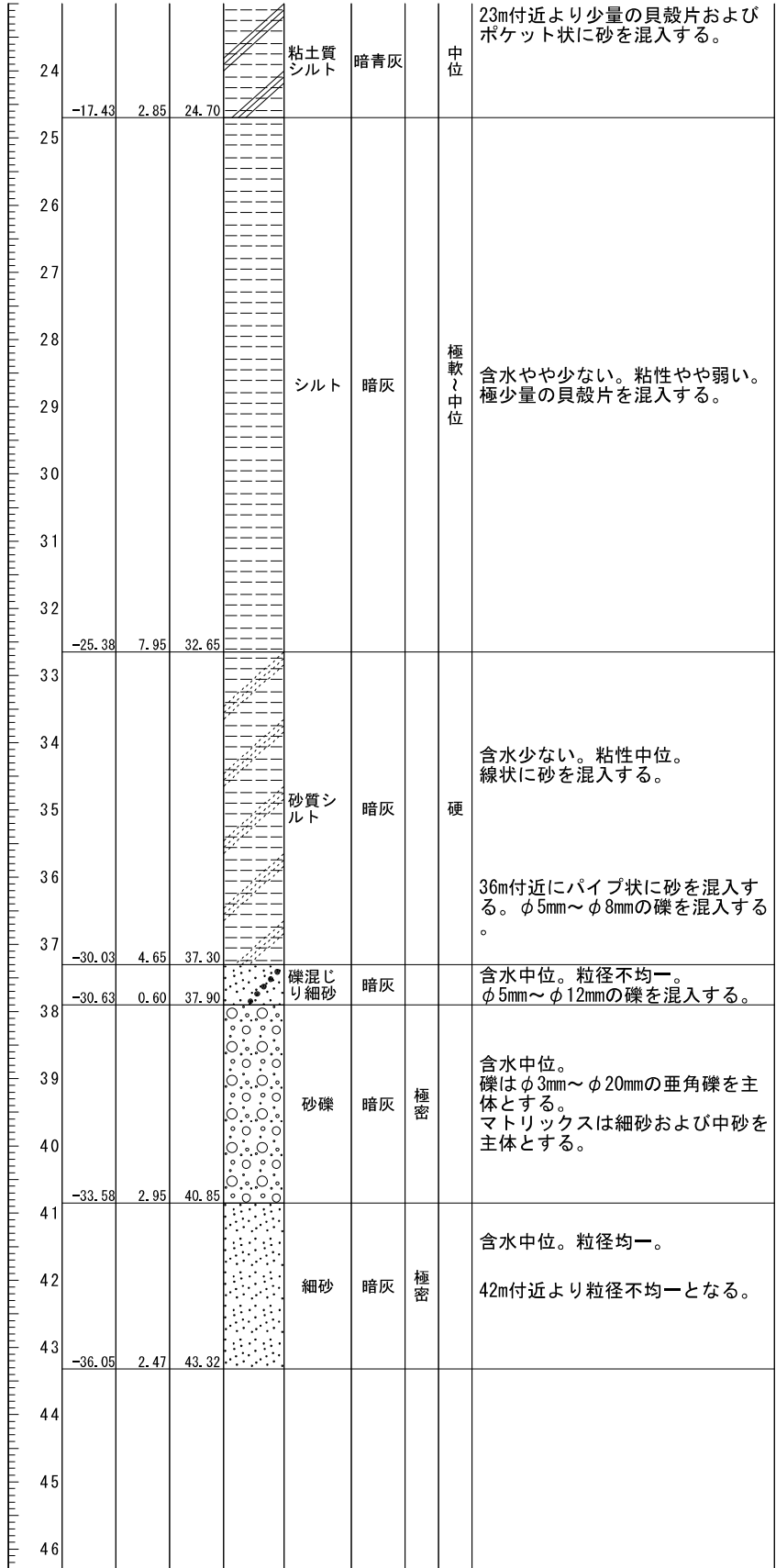
ボーリングNo. 53396550003

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.3	調査位置	さいたま市中央区下落合5丁目地内外	北緯	35° 52' 59.5500"
発注機関	さいたま市 まちづくり推進部 まちづくり総務課	調査期間	令和5年 6月13日～ 令和5年 6月17日	東経	139° 37' 35.9100"
調査業者名	株式会社協和地質コンサルタント 電話 048-964-9620	主任技師	現代 場人	コ 鑑 定 者	ボーリング 責任者
孔口標高	TP 7.27m	角	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	43.32m	度	0°	地盤勾配	0° 鉛直 90°
		使用機種	試錐機 東邦D0-D	ハンマー落下用具	半自動型
			エンジン ヤンマーTF120V-E2	ポンプ	カノーV6





# ボーリング柱状図

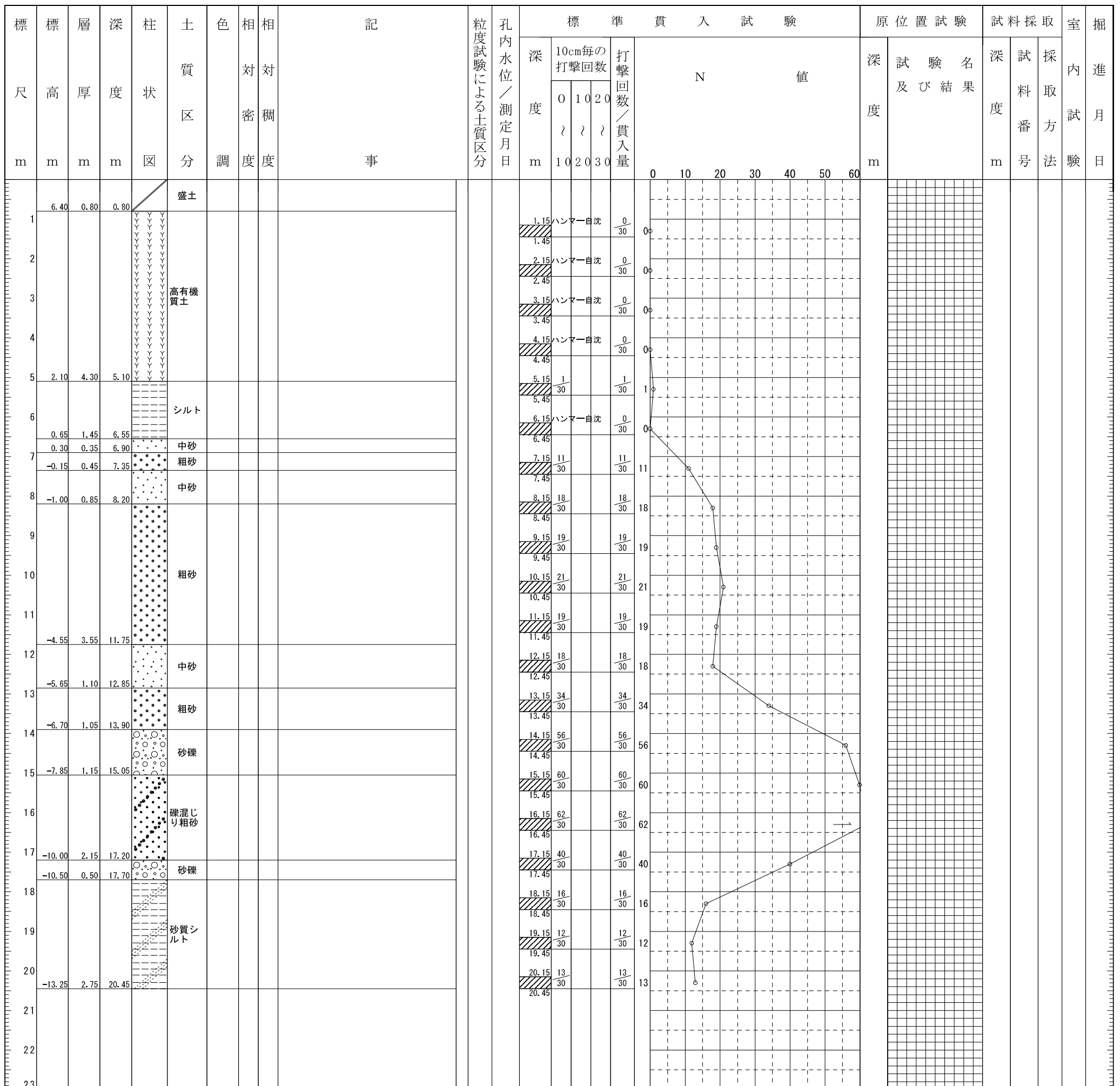
調査名 中央区役所周辺の公共施設再編事業に関する地質調査業務

ボーリングNo.

事業・工事名

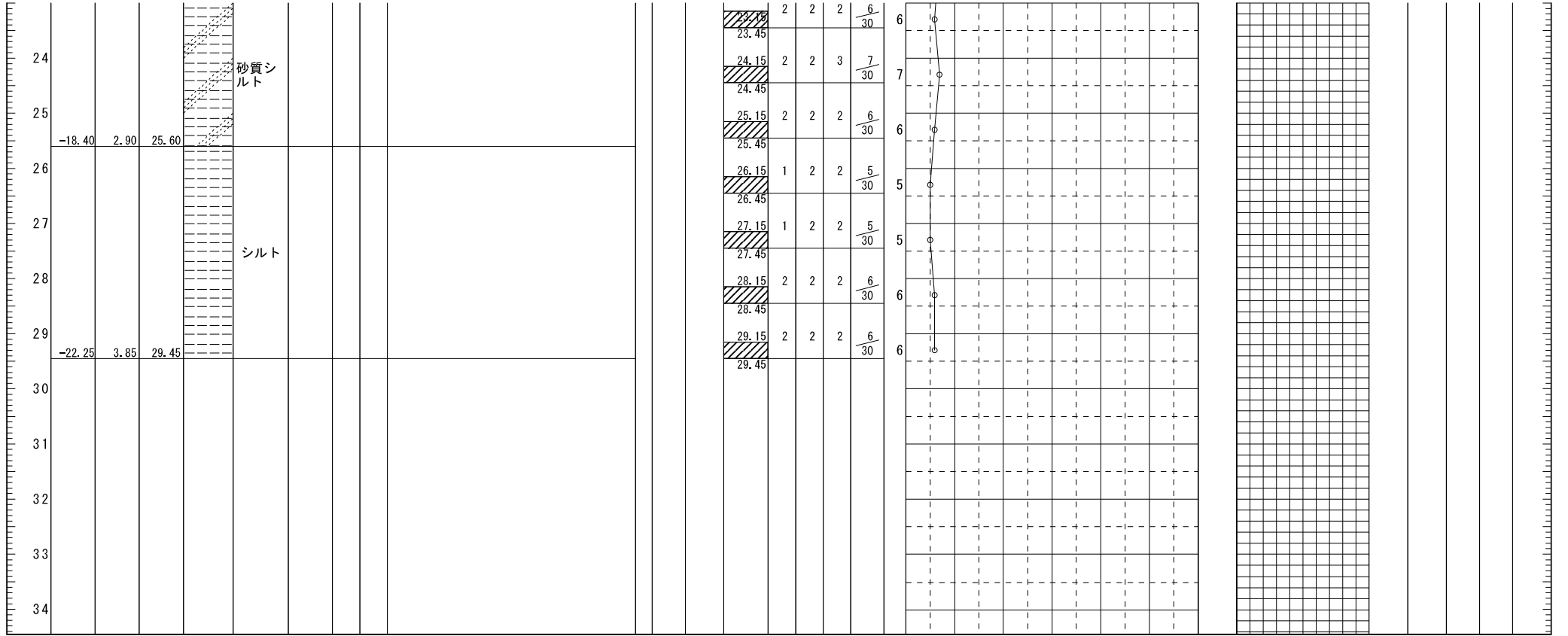
シートNo.

ボーリング名	既存-1	調査位置				北緯	° ' "
発注機関	さいたま市 まちづくり推進部 まちづくり総務課	調査期間	年月日～	年月日	東経	° ' "	
調査業者名	株式会社協和地質コンサルタント 電話 048-964-9620	主任技師	現代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	TP 7.20m	角	180° 上 下 0°	方	北 0° 270° 西 東 90° 180° 南	地盤勾配	0° 鉛直 90° 水平
総掘進長	20.45m	度	0°	向	0°	使用機種	試錐機 エンジン
						ハンマー 落下用具	ポンプ









# ボーリング柱状図

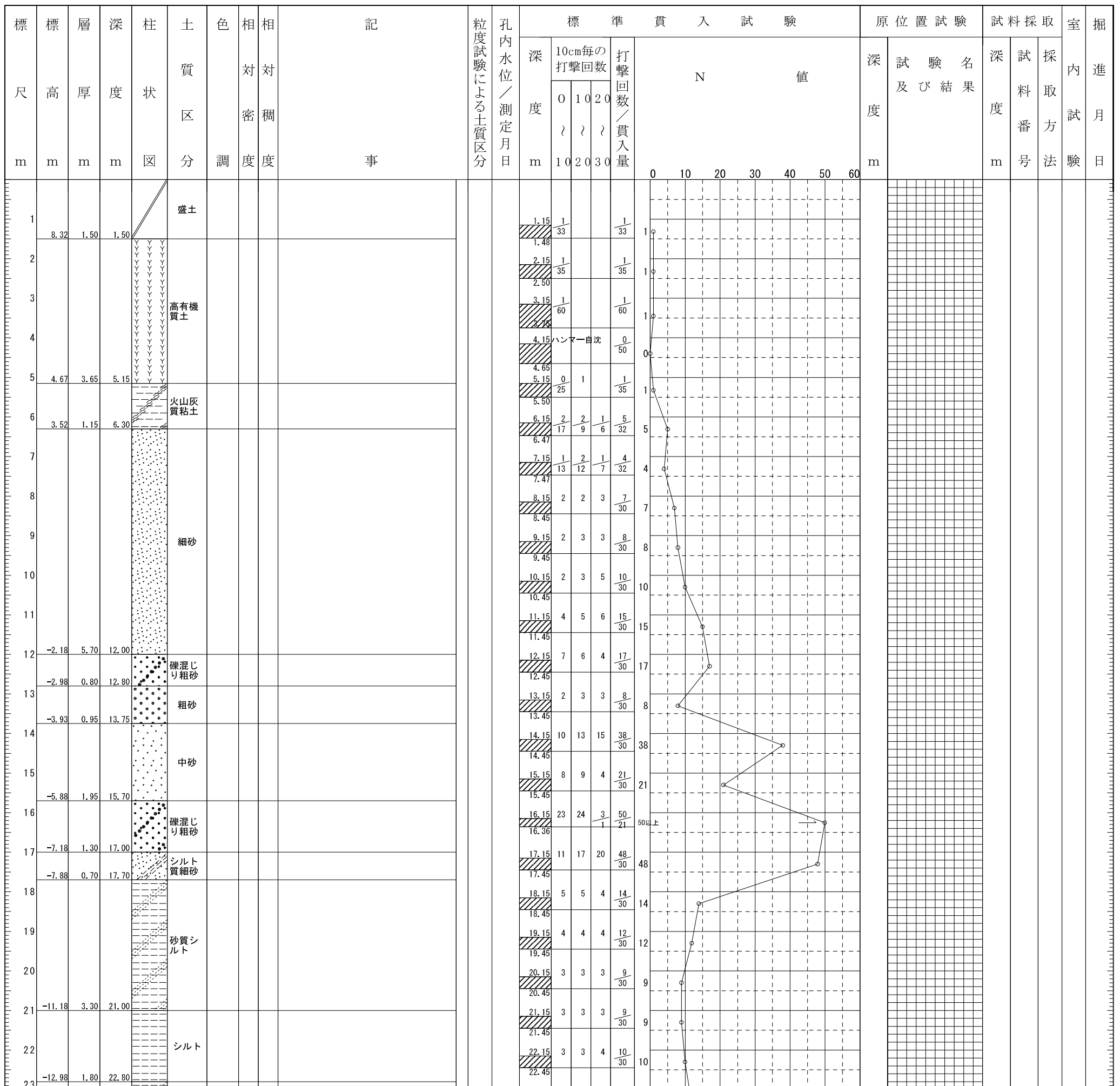
調査名 中央区役所周辺の公共施設再編事業に関する地質調査業務

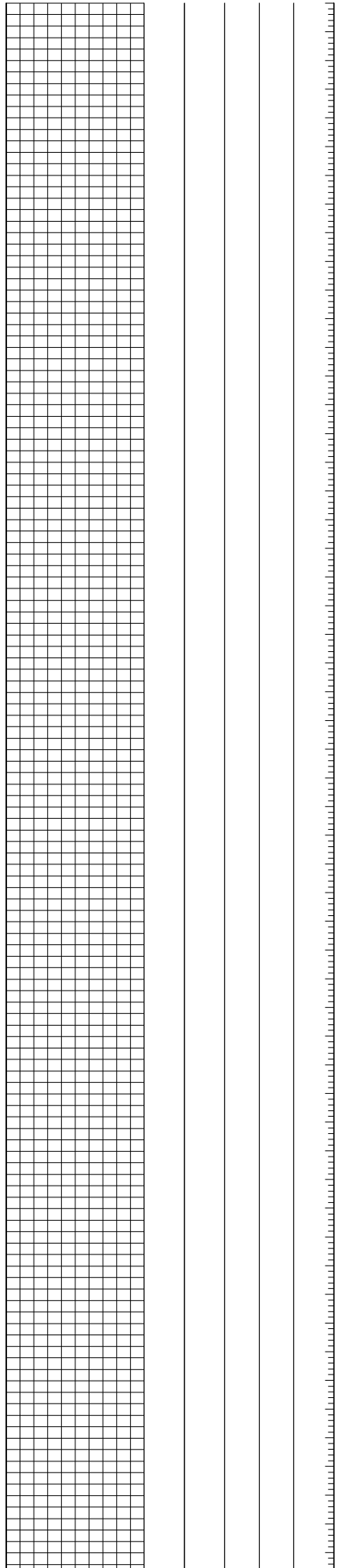
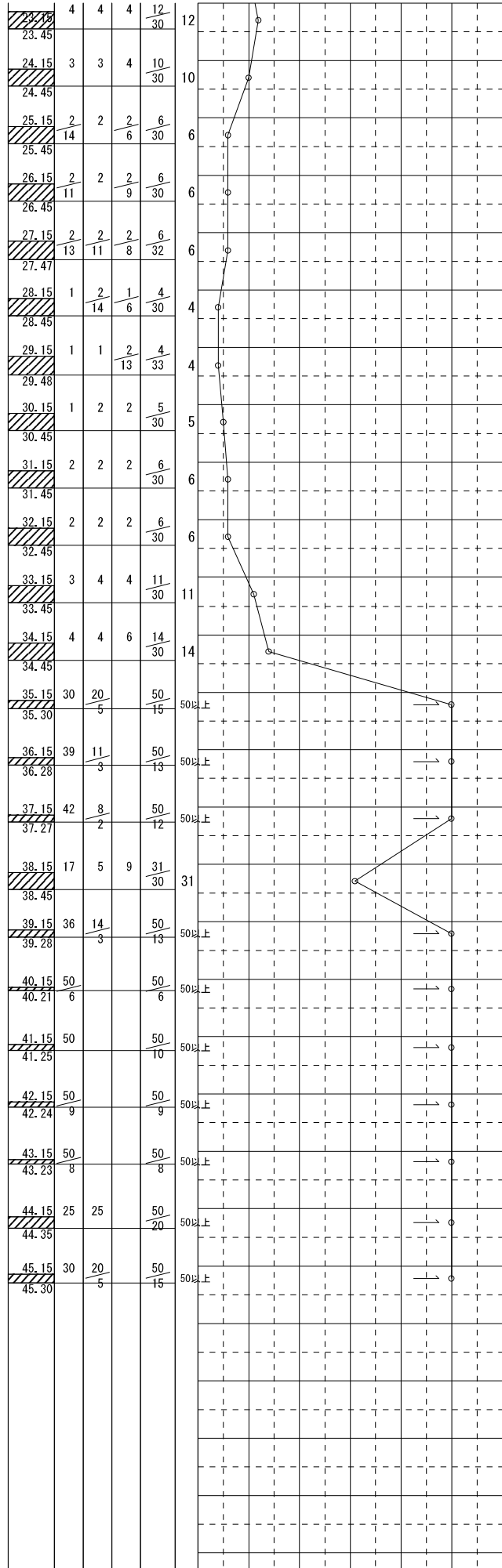
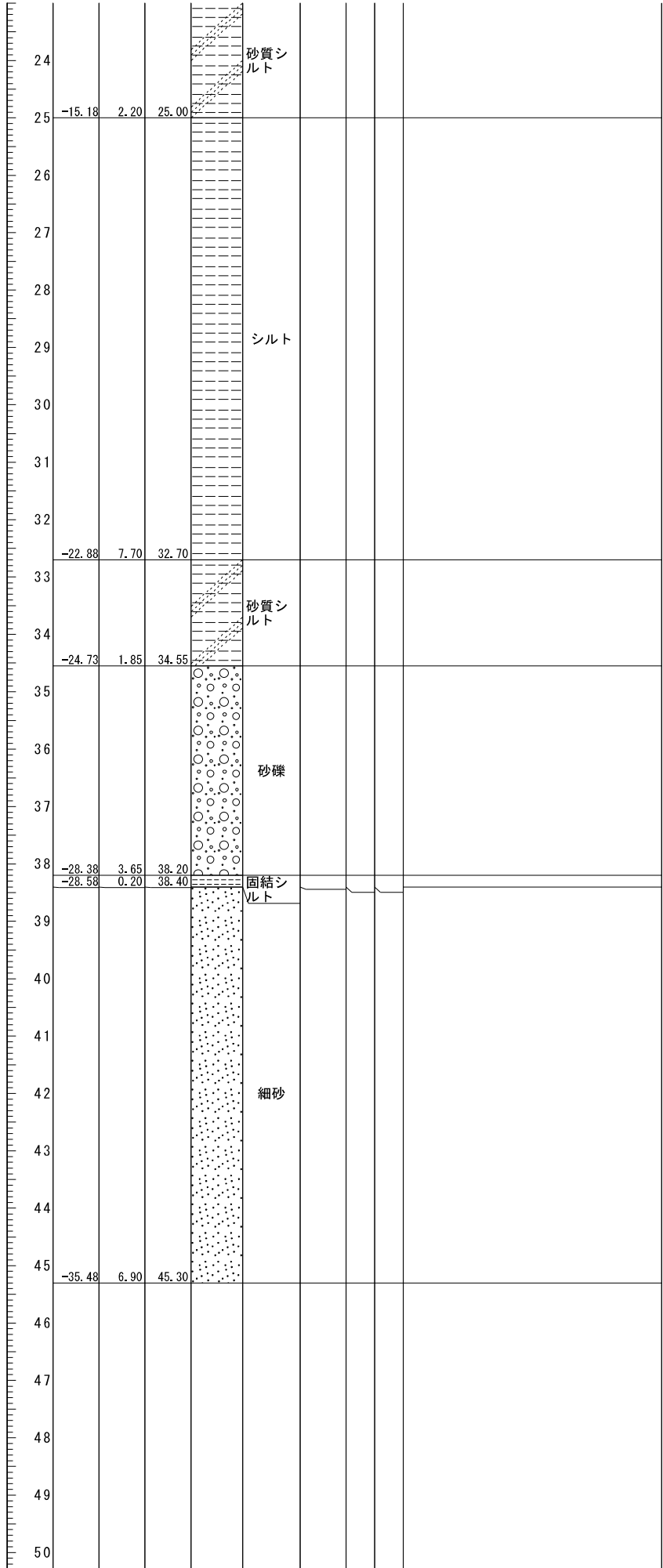
ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	既存-3	調査位置	北緯
発注機関	さいたま市 まちづくり推進部 まちづくり総務課	調査期間	年月日～年月日
調査業者名	株式会社協和地質コンサルタント 電話 048-964-9620	主任技師	現代場人
孔口標高	TP 9.82m	角	コ 鑑 定 者
総掘進長	45.30m	度	ボー リ ン グ 責 任 者
		方	ハン マ ー 落 下 用 具
		向	ポン プ
		地盤勾配	
		使用機種	
		試験機	
		エンジン	



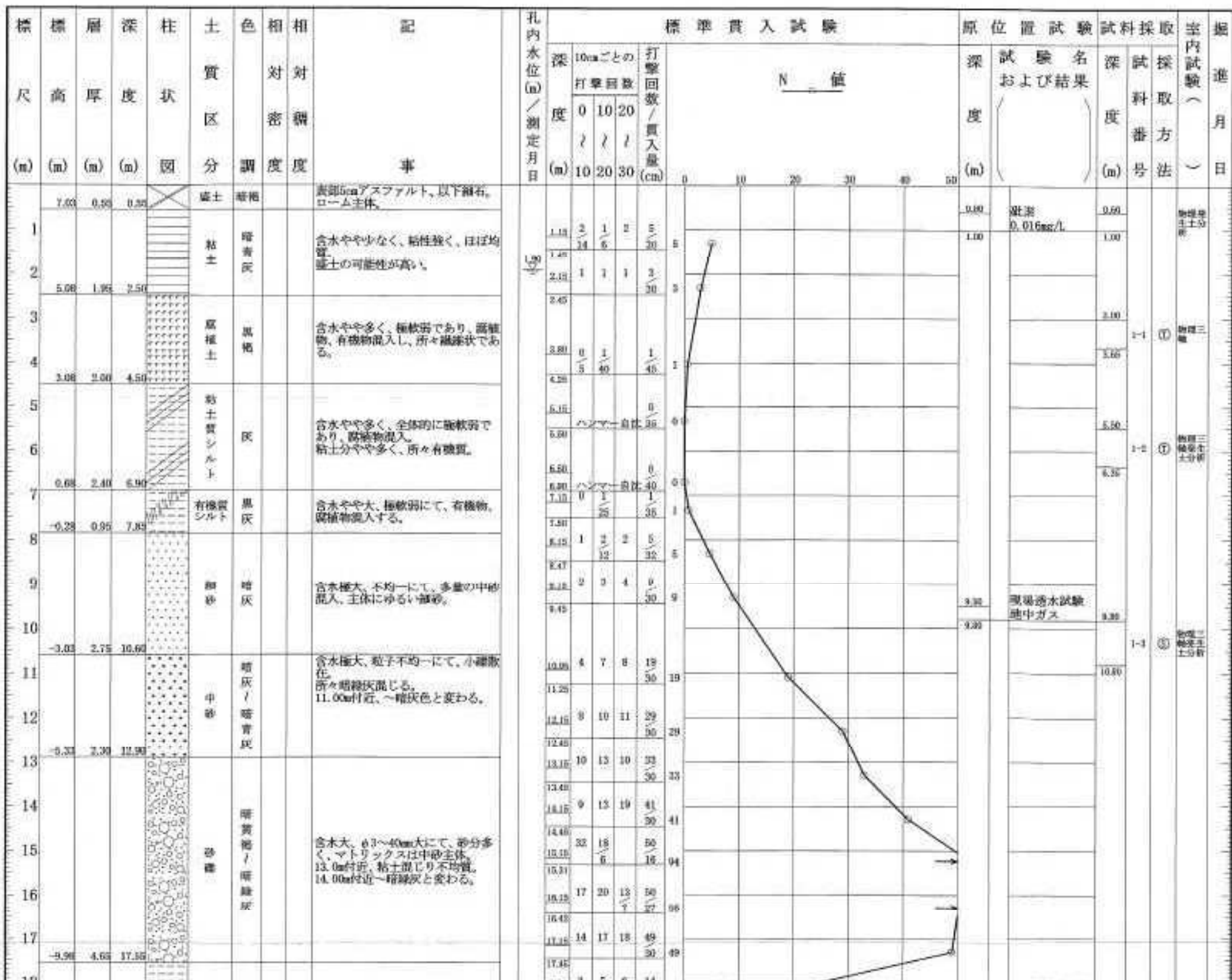


## ボーリング柱状図

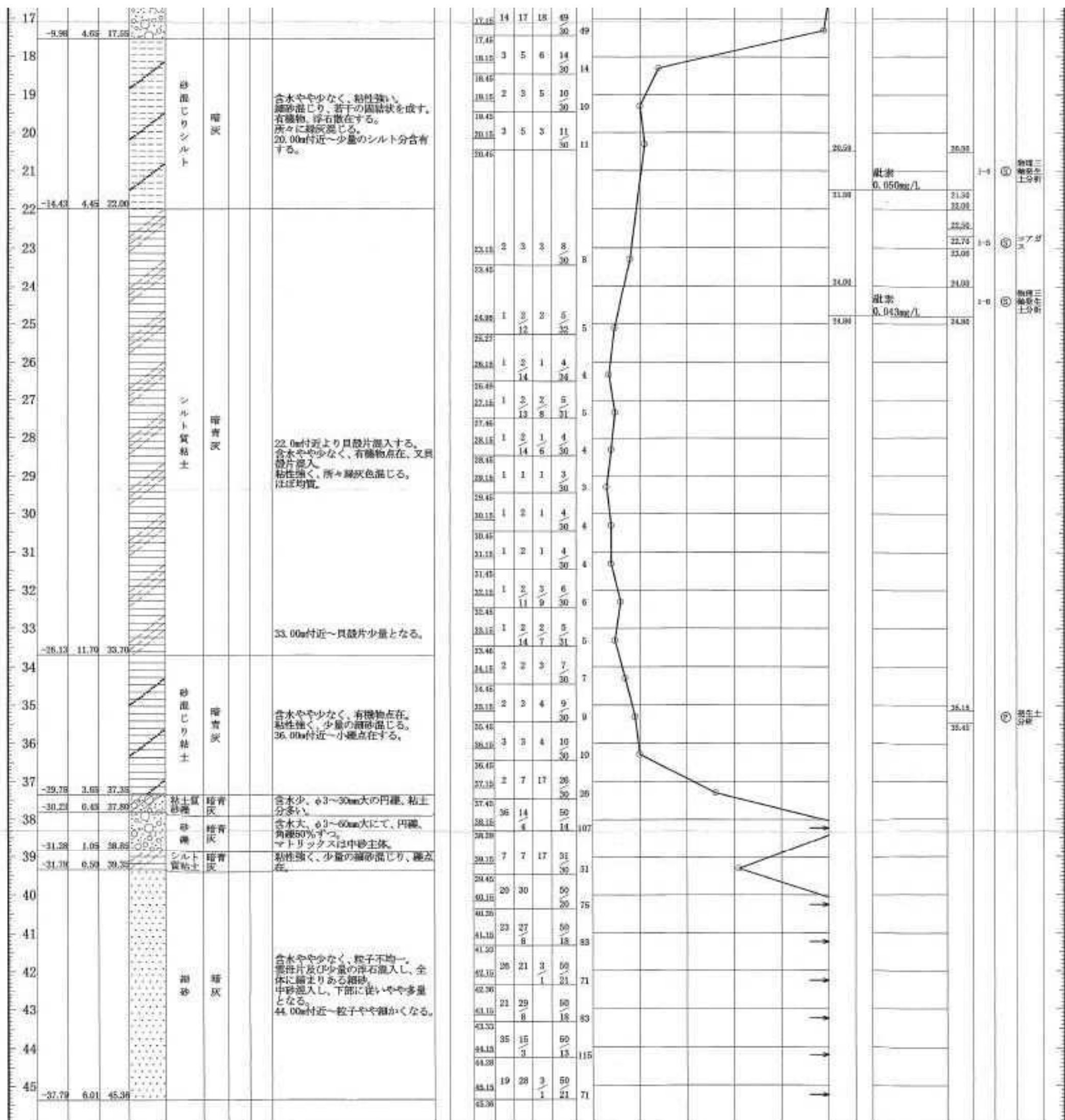
調査名 公共下水道地質調査業務 (南建-20-532)

ボーリングNo.                              

総掘進長	47.575m	上 90°	270° 西 90° 東	盤勾配 鉛直 90°	用機種	1000 D-1	落下用具	千日期器
総掘進長	45.30m	度	向	度	エンジン	NFD-15	ポンプ	V-6



既存-4



既存-5

## ボーリング柱状図

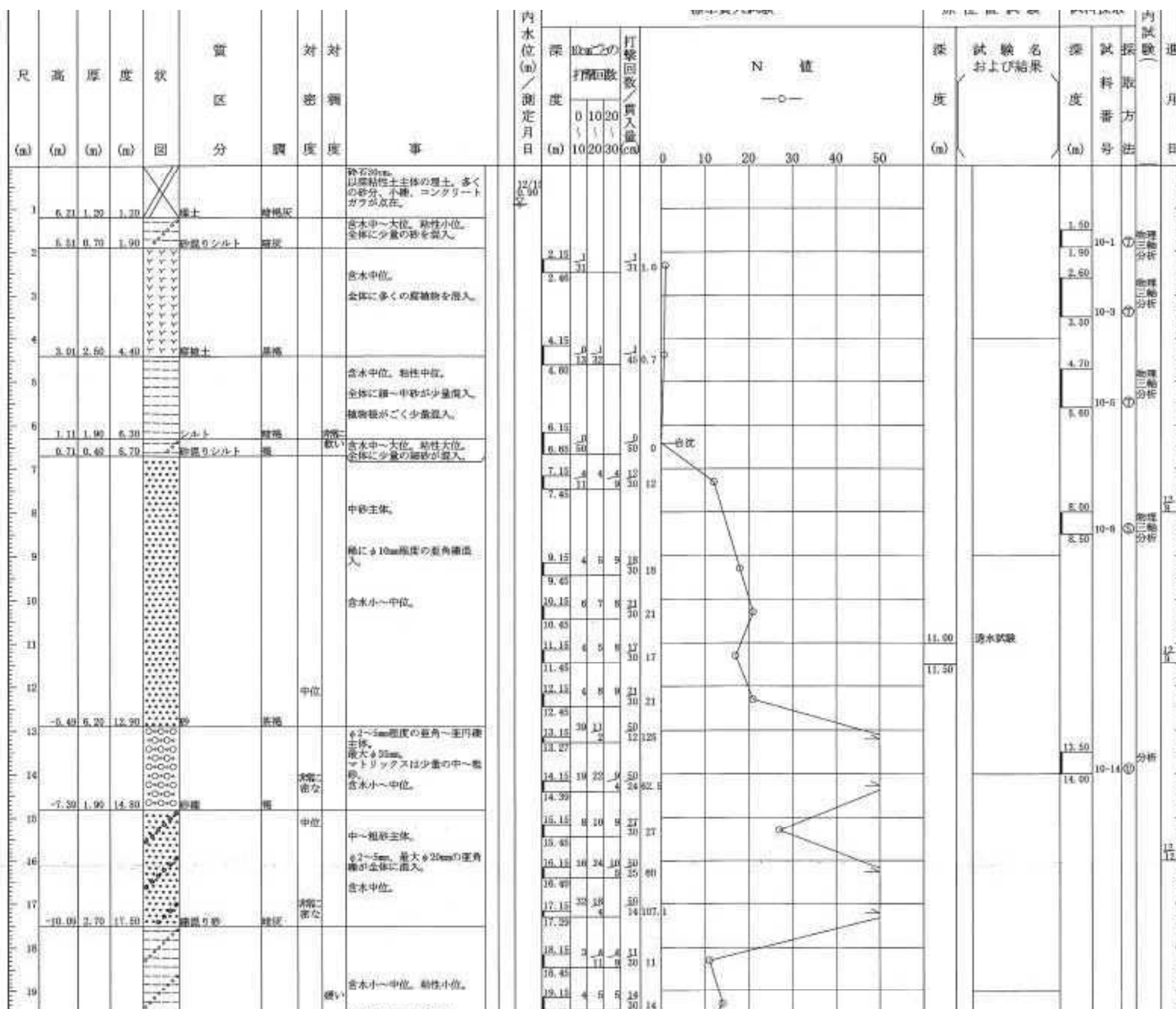
調査名 公共下水道地質調査業務(南達-23-501)

事業・工事名

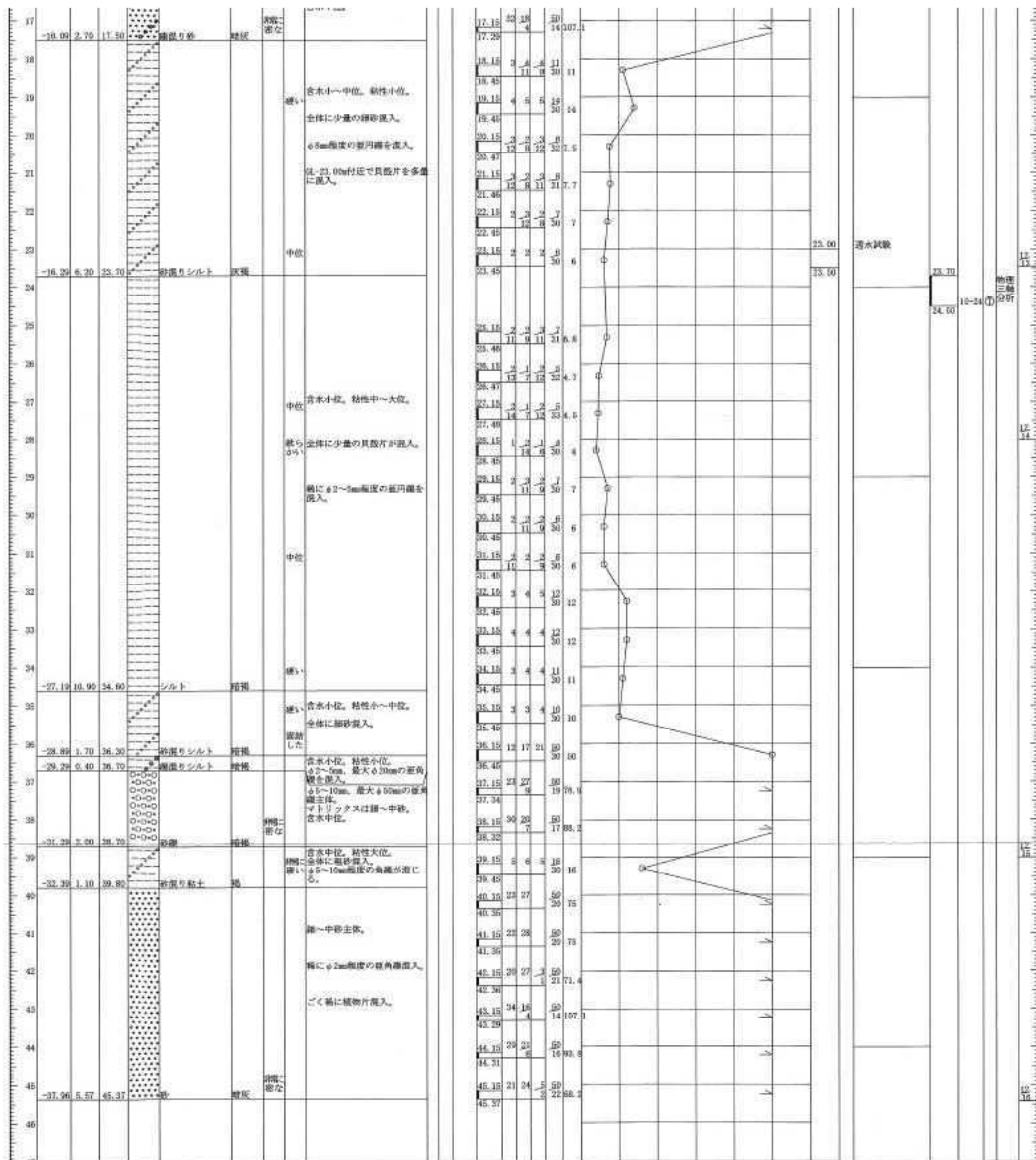
ボーリングNo.   

シートNo.   

ボーリング名	No.10	調査位置	さいたま市中央区下落合7丁目内外	北緯	35°53'3.3"
発注機関	さいたま市建設局南達建設事務所 下水道施設課	調査期間	平成23年12月12日～平成23年12月16日	南緯	130°37'36.4"



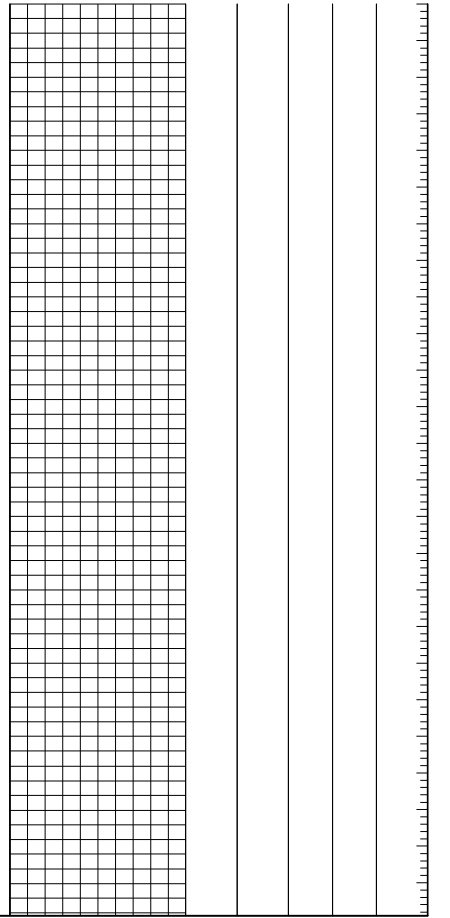
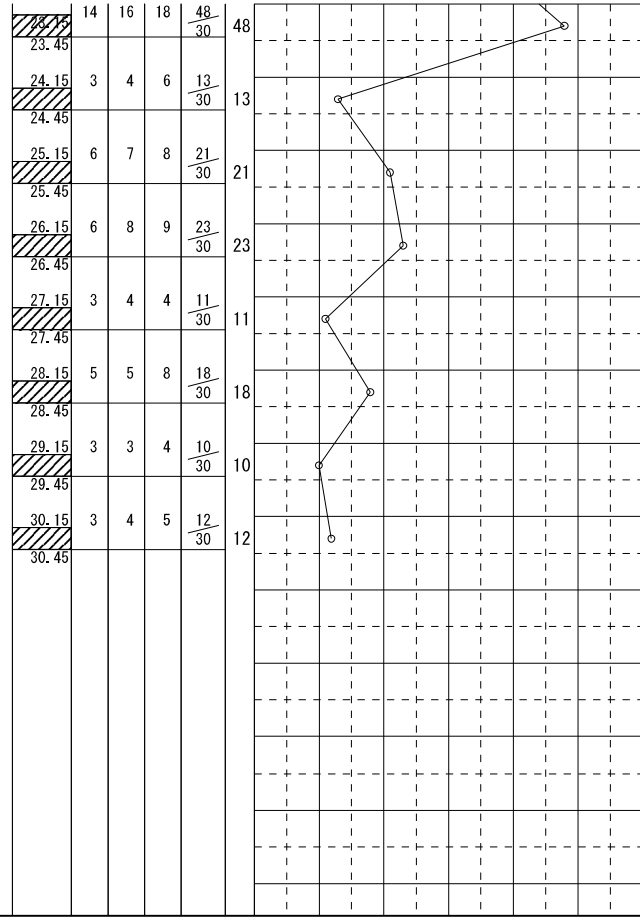
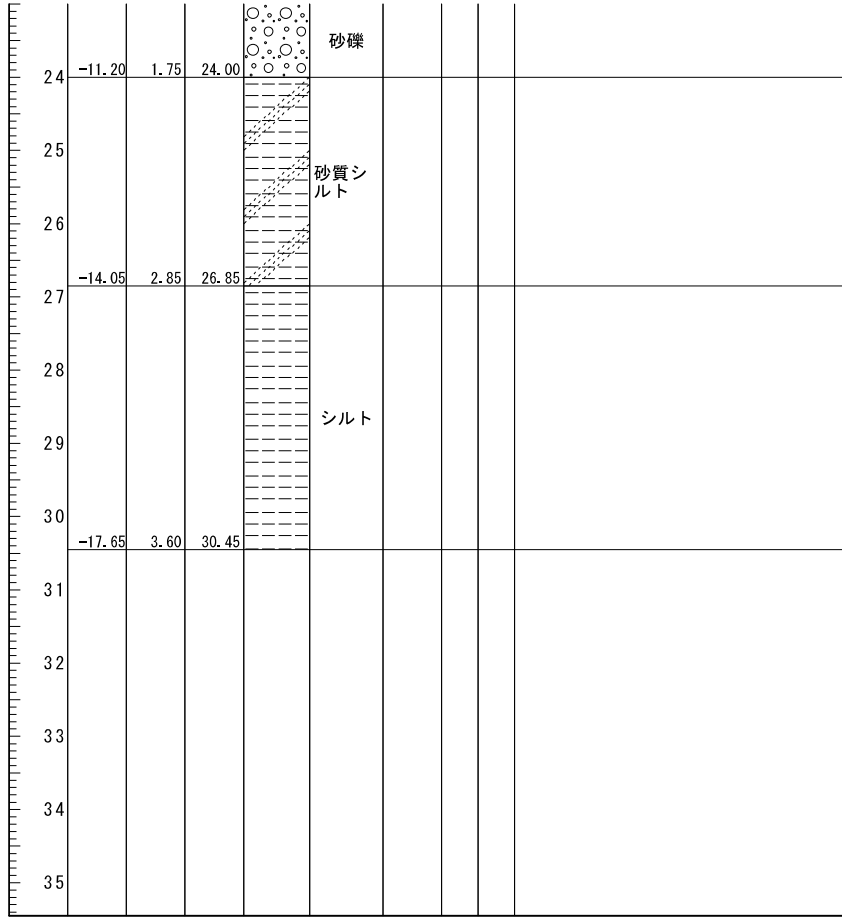
既存-5



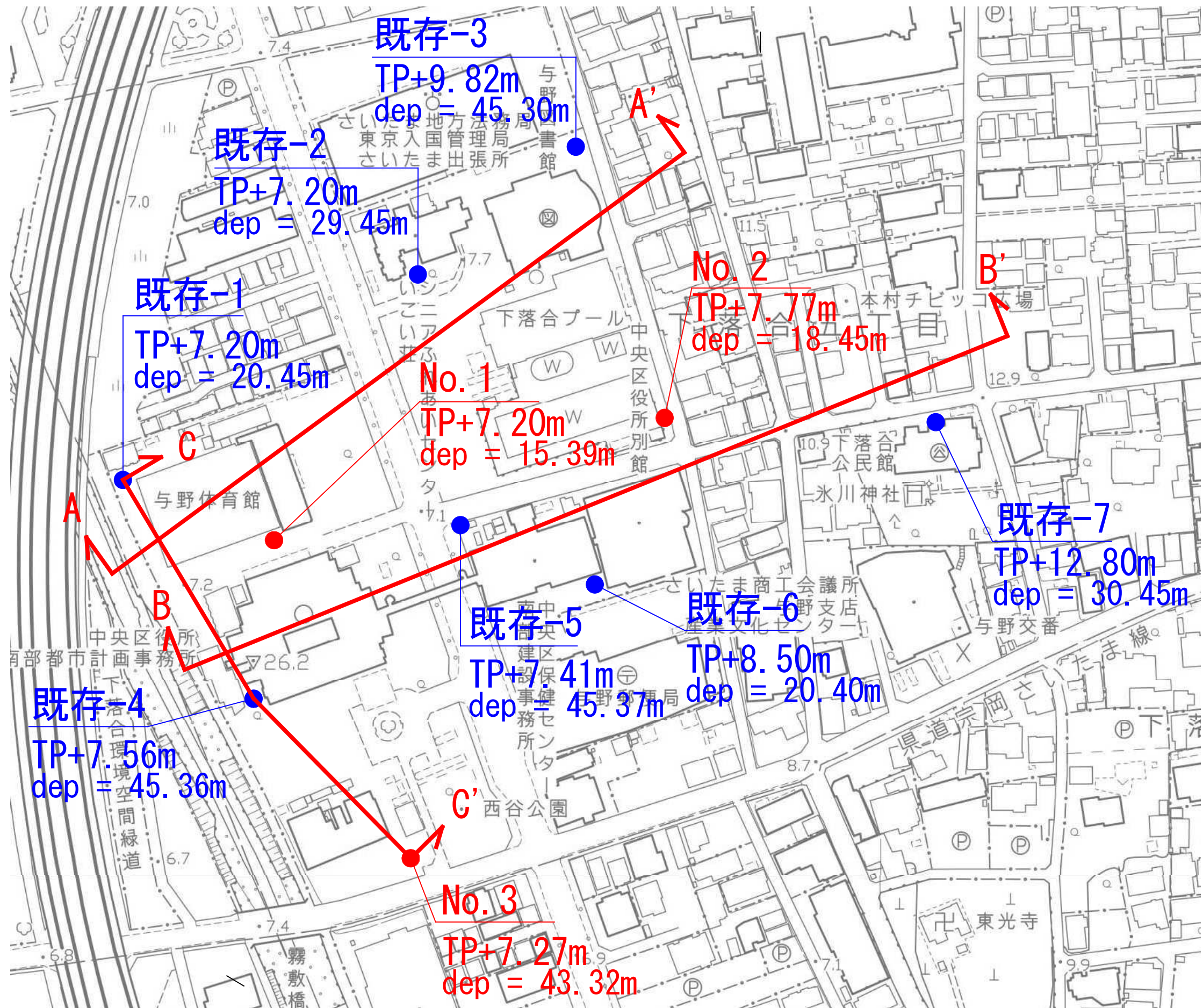






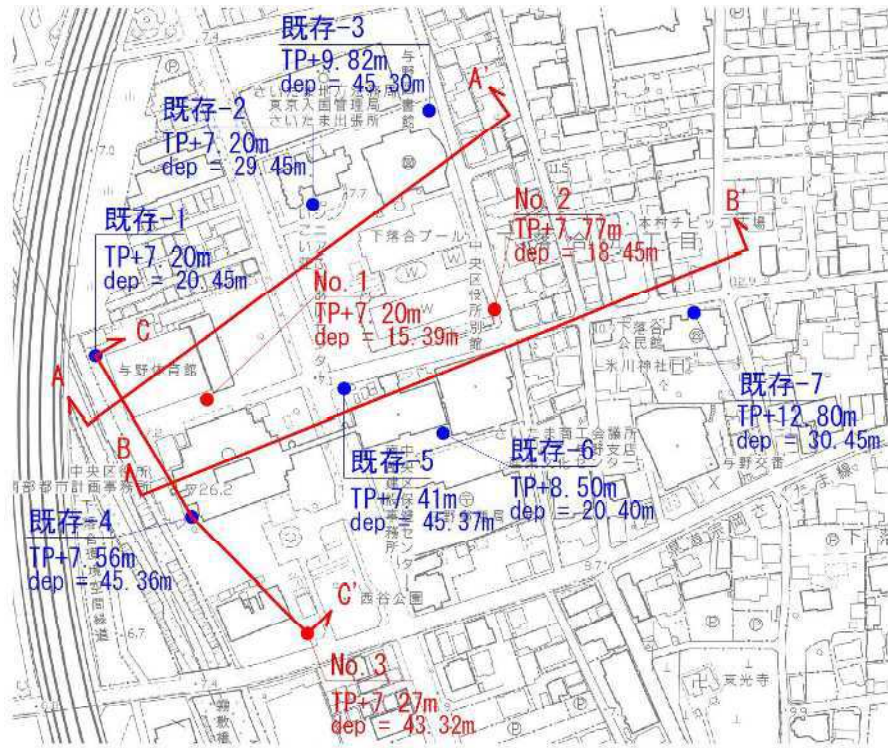
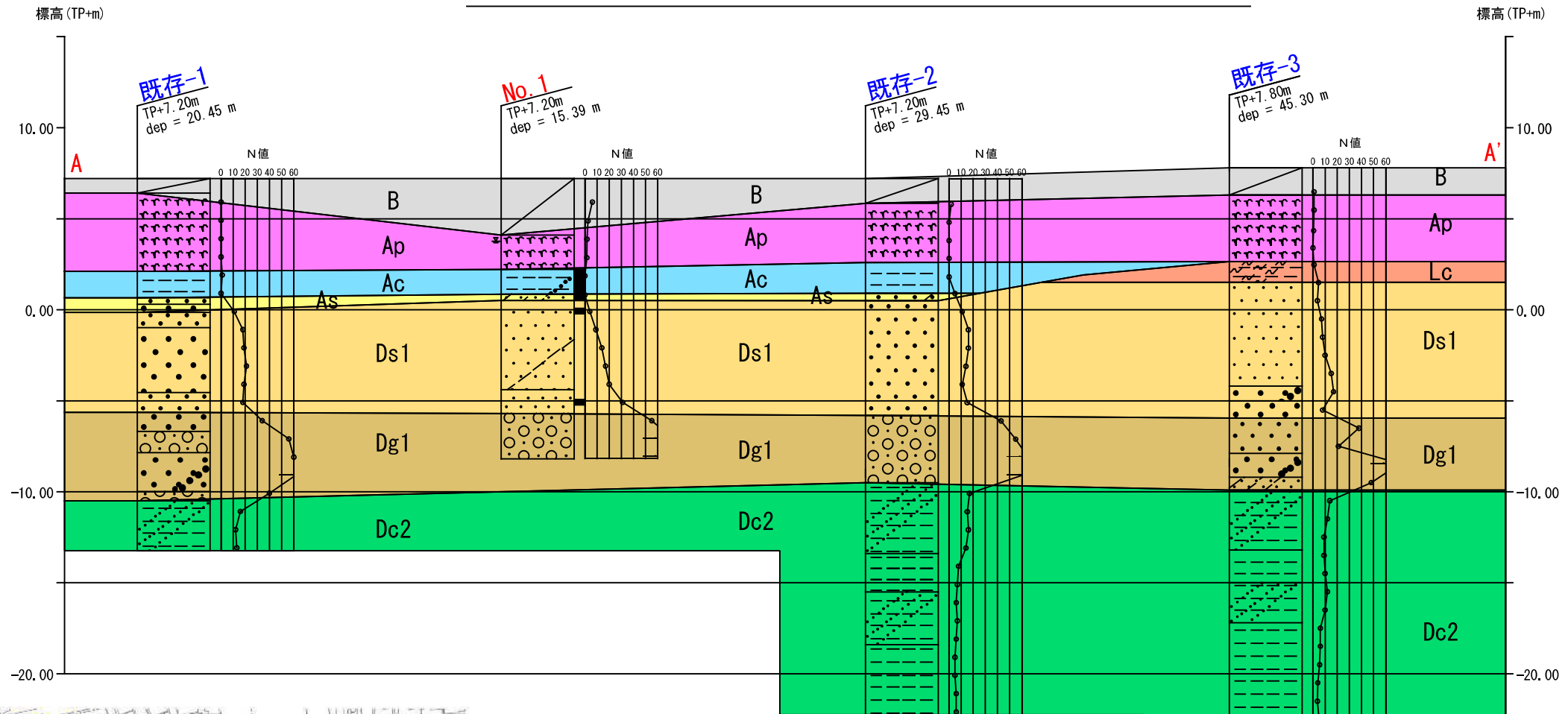


**【断面線位置図】**



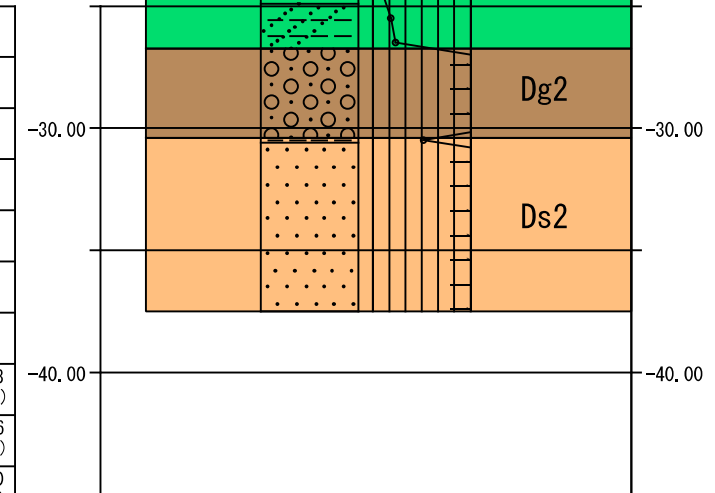
**【地層想定断面図】**

# A-A' 地層想定断面図 V = 1 : 300

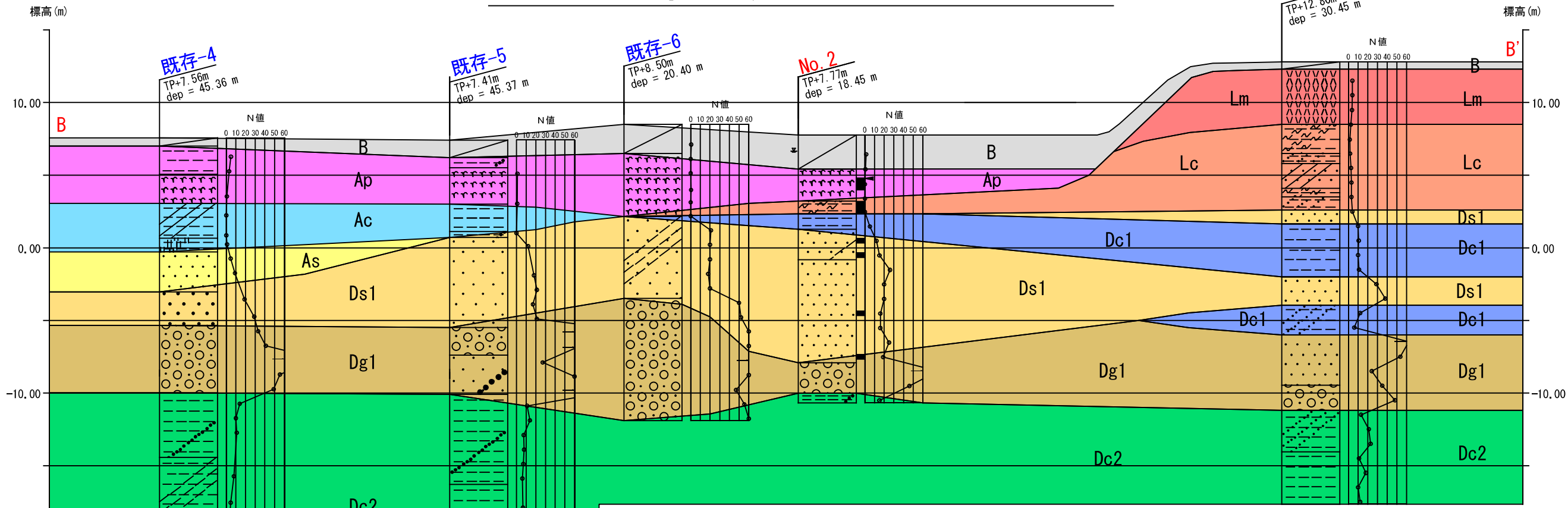


土層凡例

時代	土層名	土層記号	代表土質	N値 (平均)	
人新世	埋土・粘性土層	B	埋土層。粘性土主体の乱されたもの	1~6 (2.6)	
	完新世	沖積高有機質土層	Ap	沖積の高有機質土。高有機質土および粘性土を含む。水分やや多い。	0~5 (0.8)
		沖積粘性土層	Ac	沖積の粘性土層。掘削位置によっては高有機質土および火山灰質土等を混入する。	0~6 (0.7)
第四紀	沖積砂質土層	As	沖積の砂質土層。中砂および粗砂を混入する。	4~9 (6.3)	
	更新世	関東ローム層	Lm	洪積の関東ローム層である。	4
		火山灰質粘性土層	Lc	洪積の火山灰質粘性土層。砂質粘土や粘土質細砂を含む。	2~3 (2.0)
	洪積第1砂質土層	Ds1	洪積の砂質土層。粒径不均一。中砂や礫を混入する。	4~38 (18.1)	
	洪積第1粘性土層	Dc1	洪積の粘土層。粘土または砂質シルトで構成される。	10~16 (11.7)	
	洪積第1礫質土層	Dg1	洪積の礫質土層。垂円礫~垂角礫を主体とする。	24~60 (48.5)	
	洪積第2粘性土層	Dc2	洪積の粘土層。水分やや少なく、粘性やや弱い。砂を混入する。	2~23 (8.5)	
	洪積第2礫質土層	Dg2	洪積の礫質土層。垂角礫を主体とする。マトリックスは細砂および中砂を主体。	50~60 (52.3)	
	洪積第2砂質土層	Ds2	洪積の砂質土層。水分中位、粒径均一。上部に粘性土を挟む。	16~60 (48.6)	

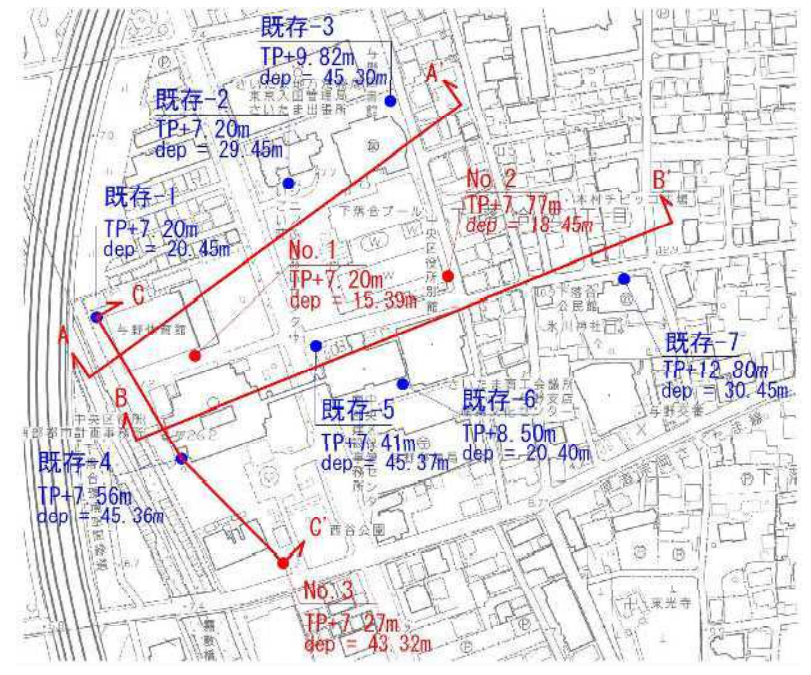


# B-B' 地層想定断面図 V = 1 : 300



土層凡例

時代	土層名	土層記号	代表土質	N値 (平均)	
人新世	埋土・粘性土層	B	埋土層。粘性土主体の乱されたもの	1~6 (2.6)	
	沖積高有機質土層	Ap	沖積の高有機質土。高有機質土および粘性土を含む。水分やや多い。	0~5 (0.8)	
		Ac	沖積の粘性土層。掘削位置によっては高有機質土および火山灰質土等を混入する。	0~6 (0.7)	
完新世	沖積砂質土層	As	沖積の砂質土層。中砂および粗砂を混入する。	4~9 (6.3)	
	第四紀	関東ローム層	Lm	洪積の関東ローム層である。	4
火山灰質粘性土層		Lc	洪積の火山灰質粘性土層。砂質粘土や粘土質細砂を含む。	2~3 (2.0)	
洪積第1砂質土層		Ds1	洪積の砂質土層。粒径不均一。中砂や礫を混入する。	4~38 (18.1)	
洪積第1粘性土層		Dc1	洪積の粘性土層。粘土または砂質シルトで構成される。	10~16 (11.7)	
洪積第1礫質土層		Dg1	洪積の礫質土層。垂直礫~垂角礫を主体とする。	24~60 (48.5)	
洪積第2粘性土層		Dc2	洪積の粘性土層。水分やや少なく、粘性やや弱い。砂を混入する。	2~23 (8.5)	
洪積第2礫質土層		Dg2	洪積の礫質土層。垂角礫を主体とする。マトリックスは細砂および中砂を主体とする。	50~60 (52.3)	
洪積第2砂質土層		Ds2	洪積の砂質土層。水分中位、粒径均一。上部に粘性土を挟む。	16~60 (48.6)	
更新世					

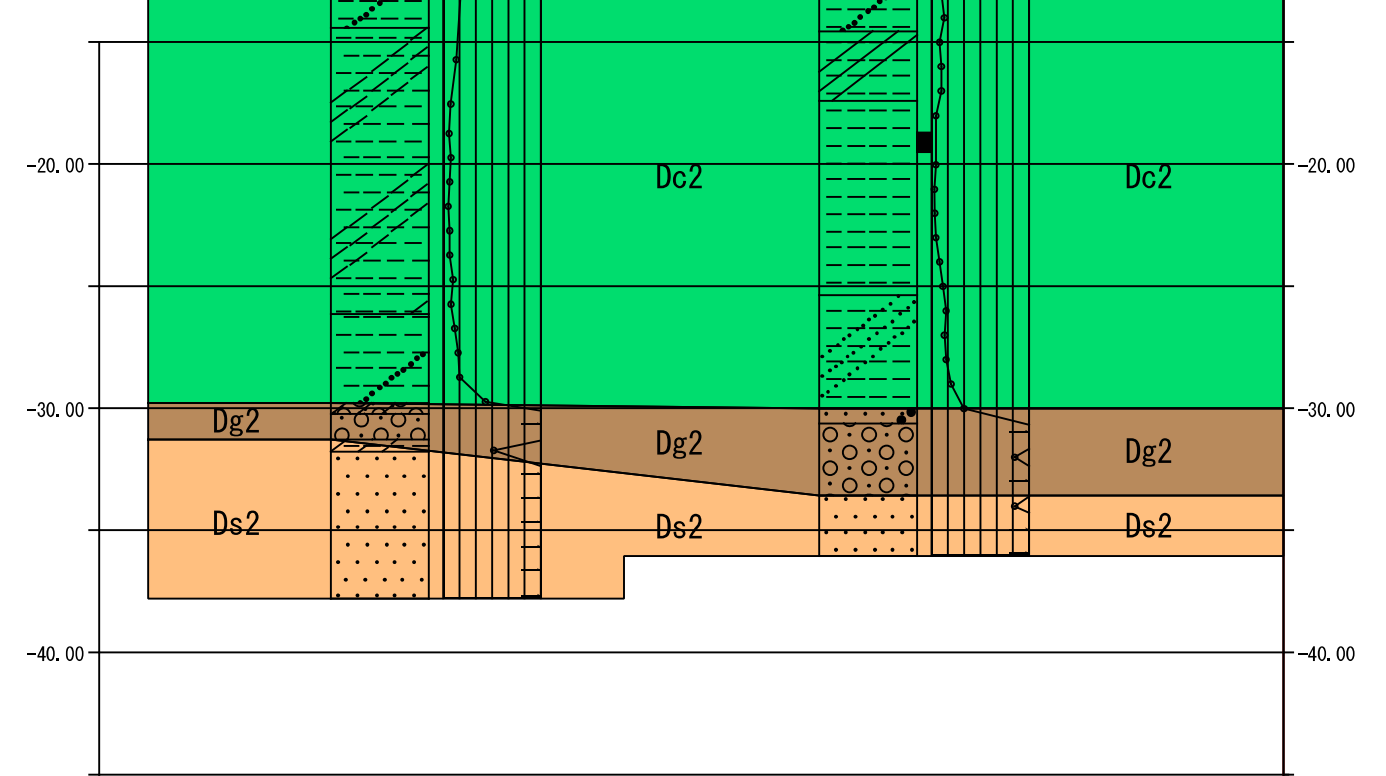
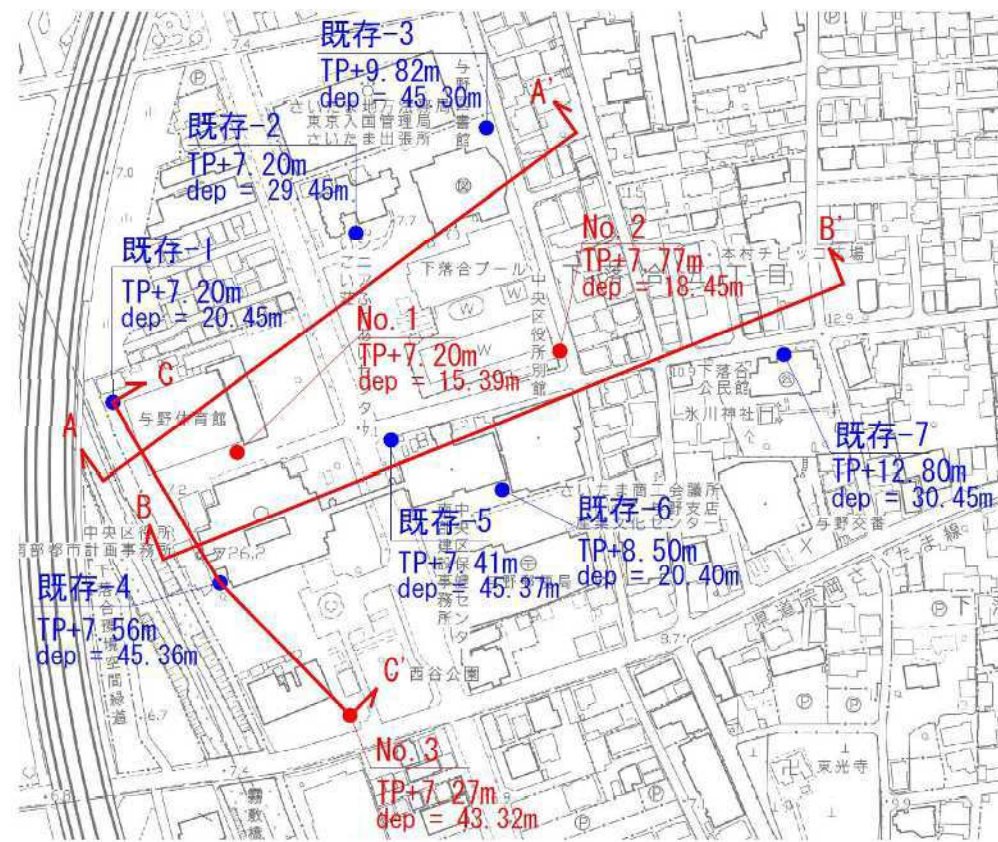
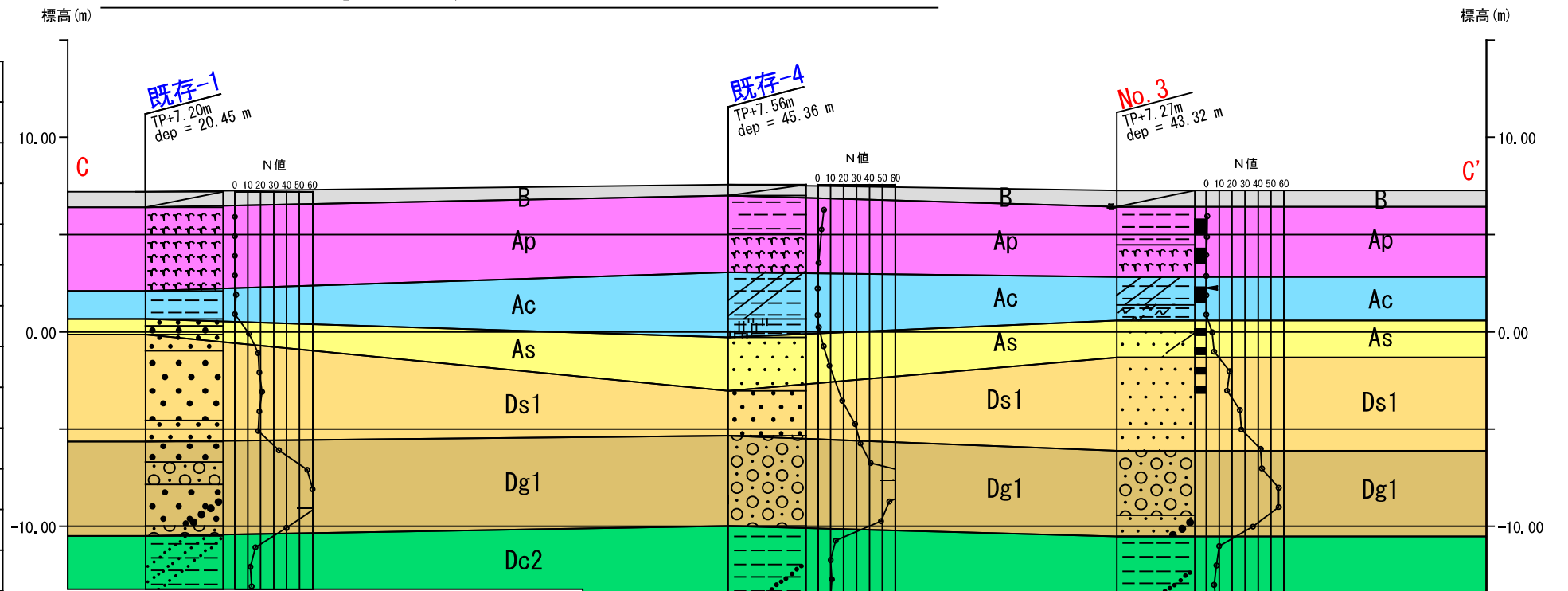




# C-C' 地層想定断面図 V = 1 : 300

土層凡例

時代	土層名	土層記号	代表土質	N値 (平均)
人新世	埋土・粘性土層	B	埋土層。粘性土主体の乱されたもの	1~6 (2.6)
完新世	沖積高有機質土層	Ap	沖積の高有機質土。高有機質土および粘性土を含む。水分やや多い。	0~5 (0.8)
	沖積粘性土層	Ac	沖積の粘性土層。掘削位置によっては高有機質土および火山灰質土等を混入する。	0~6 (0.7)
	沖積砂質土層	As	沖積の砂質土層。中砂および粗砂を混入する。	4~9 (6.3)
第四紀	関東ローム層	Lm	洪積の関東ローム層である。	4
	火山灰質粘性土層	Lc	洪積の火山灰質粘性土層。砂質粘土や粘土質細砂を含む。	2~3 (2.0)
	洪積第1砂質土層	Ds1	洪積の砂質土層。粒径不均一。中砂や礫を混入する。	4~38 (18.1)
	洪積第1粘性土層	Dc1	洪積の粘土層。粘土または砂質シルトで構成される。	10~16 (11.7)
	洪積第1礫質土層	Dg1	洪積の礫質土層。垂円礫~垂角礫を主体とする。	24~60 (48.5)
	洪積第2粘性土層	Dc2	洪積の粘土層。水分やや少なく、粘性やや弱い。砂を混入する。	2~23 (8.5)
	洪積第2礫質土層	Dg2	洪積の礫質土層。垂角礫を主体とする。マトリックスは細砂および中砂を主体。	50~60 (52.3)
	洪積第2砂質土層	Ds2	洪積の砂質土層。水分中位、粒径均一。上部に粘性土を挟む。	16~60 (48.6)



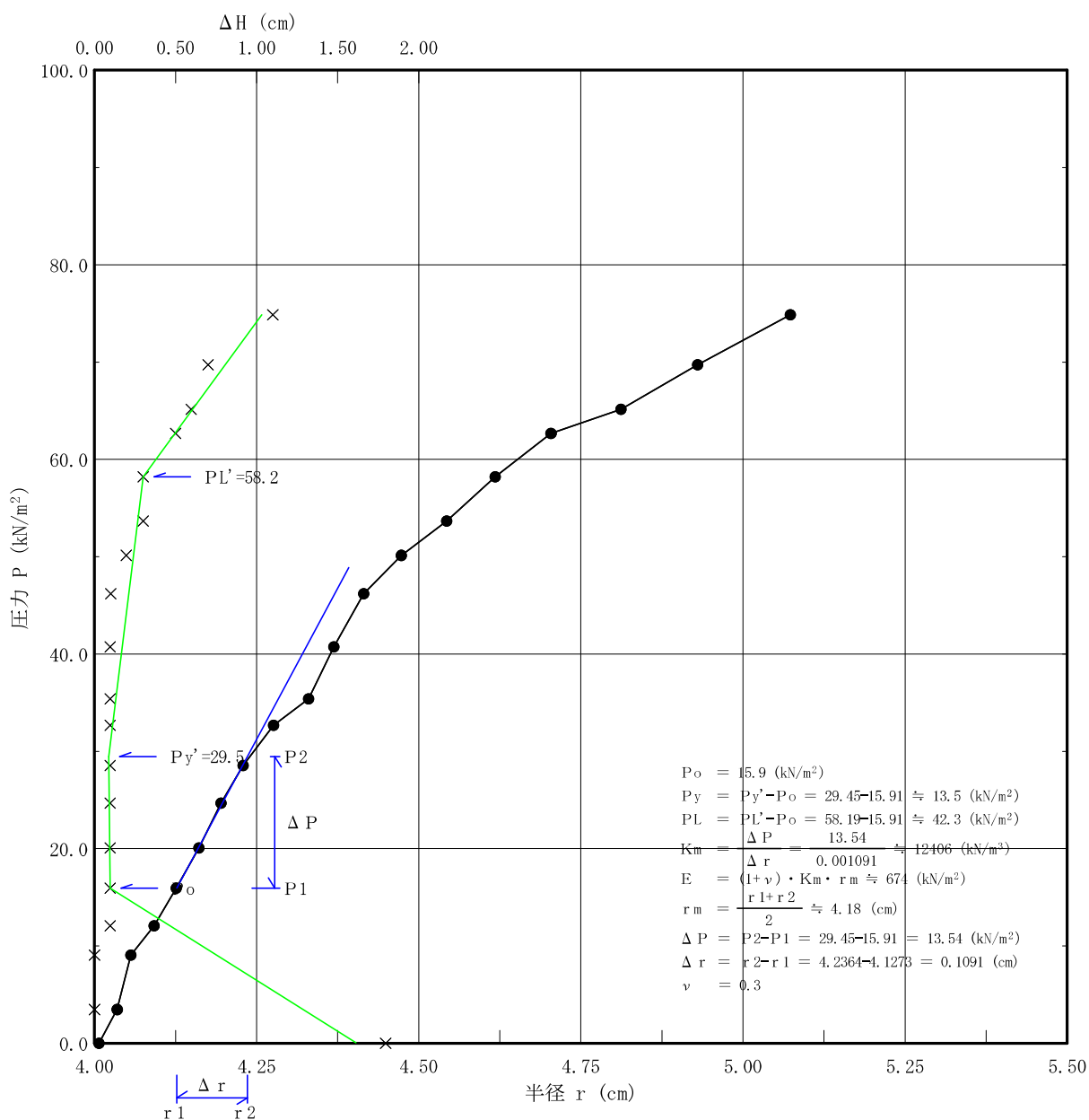
【孔内水平載荷試験データシート】

# 孔内水平載荷試験

調査件名	中央区役所周辺の公共施設再編事業に関する地質調査業務		
測定番号	No. 2 - GL-3.00m	深 度	GL -3.00 m
測定月日	2023年 6月22日	時 間	13
使用ゴム筒	生ゴムハイカー	N 値	0/50
地 質 名	高有機質土		

試験装置	LLT
試験時の状況	

静止土圧 $P_o$ (kN/m <sup>2</sup> )	降伏圧 $P_y$ (kN/m <sup>2</sup> )	破壊圧 $P_L$ (kN/m <sup>2</sup> )	地盤係数 $K_m$ (kN/m <sup>3</sup> )	変形係数 $E$ (kN/m <sup>2</sup> )	K値を求めた 中間半径 $r_m$ (cm)
15.9	13.5	42.3	12,400	674	4.18





# 孔内水平載荷試験

調査件名	中央区役所周辺の公共施設再編事業に関する地質調査業務		
測定番号	No. 3 - GL-5.00m	深 度	GL -5.00 m
測定月日	2023年 6月17日	時 間	13
使用ゴム筒	生ゴムハイカー	N 値	0/50
地 質 名	粘土質シルト		

試験装置	LLT
試験時の状況	

静止土圧 $P_o$ (kN/m <sup>2</sup> )	降伏圧 $P_y$ (kN/m <sup>2</sup> )	破壊圧 $P_L$ (kN/m <sup>2</sup> )	地盤係数 $K_m$ (kN/m <sup>3</sup> )	変形係数 $E$ (kN/m <sup>2</sup> )	K値を求めた 中間半径 $r_m$ (cm)
16.4	25.7	44.2	10,100	555	4.23

